



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）
第30号 令和2年9月25日発行

陸上練習～6年生らしく

9月23日に開成山陸上競技場で陸上練習を行いました。各種目に分かれて競技場の雰囲気慣れつつ、技能向上を目指して真剣に練習に取り組みました。また、他校の児童も練習していて、良い刺激を受けたようです。種目担当の教師のアドバイスに耳を傾け、限られた練習時間を有効に使うという態度も立派でした。本番会場での練習は、リレー以外は今回で最後になる予定です。そのチャンスを生かして、自己ベストを目指そうと練習に取り組む姿に、小原田小学校の最高学年としての成長した姿と代表選手としての自覚が見られ、とてもうれしく思いました。陸上競技大会本番でも自己ベストを目指して競技に真剣に取り組むとともに仲間を心から応援する姿を楽しみにしています。



授業研究（3年1組）



9月18日に3年1組で算数科の授業研究を行いました。『大きな数のかけ算のしかたを考えよう』の単元で、「3位数×1位数（部分積がみな1桁）の計算の仕方について、2位数×1位数の計算の仕方を基に考え、答えを求めることができる。」の目標で授業を行いました。

まず、文章問題から 312×3 と立式することができました。それから、自分で計算のしかたを考えました。 23×3 のような2位数×1位数の計算で学んだ「位ごとに分けて計算する」ということを使って計算したり、たして答えを求めたりと、自分の力で解決しました。その際、考えの過程を図や言葉などを使ってシートに詳しく説明することもできていました。その後、近くの友達と互いの考えを伝え合い、それぞれの良さを認め合いました。さらに、全体での話し合いを経て、「位ごとに分けて考える」ことの良さをしっかり理解することができました。最後に、学んだ事をいかして練習問題に取り組みました。ほとんどの児童が正解することができました。

どの子どもも真剣に問題を解いたり考えを伝えたりしていて、意欲的な学習態度でした。とても成長した姿が見られ感心しました。

授業研究（5年1組）

9月23日に5年1組で算数科の授業研究を行いました。『図形の角～図形の角を調べよう』の単元で、「三角形の内角の和を基にして、四角形の内角の和を考え、説明することができる。」の目標で授業を行いました。

まず、前時までの学習を振り返りました。そこでは、「どんな三角形でも3つの角の大きさの和は、 180° になる。」ということ、教室の掲示物を基に再確認しました。それから、「では四角形の4つの角の大きさの和は何度になるだろうか。」と本時の課題を共有しました。「分度器で測ればいい。」「分けて考えればいい。」等の考えが出された後、「三角形に分けて考える。」という考えに集約されました。

次に、ロイロノートを使って自分で四角形を三角形に分けていきました。ロイロノートを使うことで、全員の考えが短時間で理解することができました。すると、三角形の分け方は、主に3つあることが分かりました。そして、式や言葉で四角形の内角の和は、 360° になることを児童一人ひとりが解決することができました。そして、みんなの考えをロイロノートで共有することで、友達の考えと自分の考えを比較検討することができました。最後に、練習問題を解き、達成感と充実感を味わいました。

高学年らしく問題に真剣に向き合い、自力で解決しようとする態度がすばらしかったです。さらに、ロイロノートの使い方にも慣れ、有効な学習手段ともなっていて、感心しました。

